

少しずつ暖かくなり、春が近づいてきました。年度末で慌ただしい時期ですが、健康に気をつけてお過ごしください。春からはイベントが再開できることを願っています。

室戸岬灯台ツアー再開しました！

室戸岬灯台手前の山の斜面が崩れたために中止になっていた「岬の上ぐるり灯台ウォーク」ツアー（室戸市観光ガイドの会主催）が再開しました。先日コース点検を兼ねたガイドの練習会に参加してきました。

この日のテーマは「あれ、室戸岬灯台は小さいね！どうして？」でした。明治32年に作られた室戸岬灯台は、光の強さ（光度）160万カンデラ、光が届く距離（光達距離）約49kmと日本一ですが、灯台の大きさは高さ15mと小さいのです。その理由がジオパークならではの^{じりょう}海成段丘、寺領がキーワードです。ツアーで「室戸岬灯台が小さい理由」を探ってみるのはいかがでしょうか？

砂と泥のしましまの地層、タブの木、ヤブツバキを横目に、鳥の声や波音を楽しみながら山道を進みます。すると、目の前が急に開け、見渡すばかりの大海原と青空、そこに映える白亜の灯台が登場。灯台の目の前で、実際に灯台で使われた電球を使って、灯台の光について知りました。その後室戸岬に繋がる斜面を見下ろしながらどうやって灯台を作ったのかを想像しました。空襲で攻撃された時のこと、官舎のことも、昔の室戸のことを知っているガイドさん達とお話の中で知ることができ、今まで岬から見上げるだけだった室戸岬灯台が身近なものに感じられました。



山中にあるタービダイト



灯台で実際に使われていた電球です



室戸岬灯台を間近に見ることができました。

ジオサイトの清掃への参加をお願いします

台風や風の影響で波打ち際に打ち寄せられたゴミを回収し、ジオサイトを保全するために、1月26日に日沖海岸・登層の清掃を予定していましたが、雨のため中止になりました。ホームページやフェイスブックなどを通じた直前の告知になってしまったにも関わらず協力を申し出てくださいました皆様、ありがとうございました。現在日程を再調整しています。日程が決まり次第ホームページ等で再度告知しますので、ぜひご協力をお願いします。



現在の日沖海岸。打ち寄せられたゴミがたくさんあります。

クジラの化石を見つけました！

奈良師の浜を歩いていたときに、大きな石の中に黒い物体を発見。実はこれはクジラの骨（背骨とあばら骨）の化石です。奈良師～元の浜にはおよそ400万年前の化石が見つかる地層があり、クジラの化石も見つかるのです。この年代の古いクジラ化石は沖縄からしか見つかっていなかったのですが、昔のクジラがどのように広がったかを考えると、奈良師は重要な場所だそうです。力持ちの人たちに浜から運んでもらい、化石は今ジオパークセンターにあります。（まもるチーム）



クジラの化石。手前に見えるのがクジラの背骨



たくさんの人に担がれて運ばれました。

謎の石垣?! 情報をお待ちしています。

先日上都呂の山の中にのろし台のようなものがあると聞き、地元の方と一緒に探しに行ってきました。険しい山の上にあったのは長くきれいに並べられた石垣とその上に山肌と同じ角度に並べられた石、道を示すかのように並べられた石（水道?）でした。木が生い茂っているものの、木の間から海がかすかに見え、波音が聞こえました。これは誰が何のために作ったのでしょうか? 少し調べたところ、「邪馬台国ののろし台跡?」「土佐藩の遠見番所、火立場跡?」「城跡?」「畑跡?」など色々な説が出てきました。こんな近くにいつの時代のものかかわからないものがあるなんて考えるだけでワクワクしませんか? 私はこれだと思う! こんな話聞いたことがある! などの情報お聞かせください!



長く続く石垣



人と比べるとその大きさが分かります



帰り道に見えた岬方面の景色

おいわの室戸ぐらし Vol.3

少しずつ室戸の食のお話を聞かせていただいています。室戸の中でも地域ごとに違う食文化を持っていること、そこで採れる食材を大事に保存しながら、季節や目的に合わせて食べていることに触れて、室戸の食文化の奥深さを感じています。自分でもあま海苔をかいて干し海苔を作ってみました。室戸の浜に生えているあま海苔も最近は海岸の浸食の影響で浜が小さくなり、収穫量も減っているとのこと。石にこびりついている海苔を採り、砂や虫などを取り除きながら冷たい水の中で洗い、刻んでスノコの上で形を作って干す。海苔が高い理由がよく理解できました。



海苔をかいています

海苔をかいています

刻んで干しました

「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ!」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会 (0887-22-5161)

Email: info@muroto-geo.jp

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 (担当: 大岩)

